

社会資本整備総合交付金

～「都市再生整備計画 協町地区（第2期）」の公表～

○社会資本整備総合交付金とは

社会資本整備総合交付金とは、活力創出、水の安全・安心、市街地整備、地域住宅支援といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本総合整備計画（仮称）に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を総合的・一体的に支援するものであります。

○都市再生整備計画

美馬市では、平成17年度から国土交通省の事業採択を受け「協町中心地区」において、「まちづくり交付金」を活用して、市民、観光客に優しい舗装整備やサインの設置、憩いの場・観光資源となる休憩所の整備等、市民の意見を取り入れながら、歴史的町並みや自然環境等の地域特性を活かしたまちづくりに取り組んできました。

今年度から、更なる「観光・リゾートタウンとして、地域の歴史・文化・自然環境を活かした個性あふれるまちづくり」を目指して、対象面積を拡大した「都市再生整備計画 協町地区（第2期）」を策定しました。

「都市再生整備計画 協町地区（第2期）」の概要

《対象面積》

600ha

《計画（事業）期間》

平成22年度～平成25年度

《まちづくりの目標》

大目標：観光・リゾートタウンとして、地域の歴史・文化・自然環境を活かした個性あふれるまちづくり

目標1：うだつの町並みを核とした観光スポットの拡大

目標2：歴史的風致と資産の保存

目標3：地域住民や観光客の快適性・交通安全性・交通アクセス・景観の向上を図る

目標4：浸水地域を縮小し、地域住民の不安を解消する

《交付対象事業》

道路整備	市道協町207号線他、217号線、221号線、227号線、228号線、229号線、242号線、313号線他、319号線、439号線（南橋）、274号線他
観光情報板の設置	道の駅
緑地・広場の整備	段上テラス（道の駅前吉野川堤防）、ポケットパーク（県道12号交差点）
照明施設の整備	藍蔵周辺
地域創造支援	常設市設置（道の駅）、藍染体験施設（ふれあい館）、展示リニューアル（森博愛邸）
まちづくり活動の推進	まちづくり活動調査、まちづくりワークショップ運営

《目標を定量化する指標》

指標	従前値	基準年度	目標値	目標年度
うだつの町並み来訪者数（人/年）	240,000	H21	260,000	H25
ボランティアガイド案内客数（人/年）	9,550	H21	10,500	H25
浸水地域の縮小（ha）	2.3	H16	0.0	H25

※美馬市役所建設部監理課の窓口においても、同様の資料を閲覧することができます。

午前8:30～午後5:00まで